

トピックス 車輪とレールの損傷に関するチャルマース工科大学とのワークショップ

平成26年3月24日に「車輪とレールの損傷に関するチャルマース工科大学とのワークショップ」を開催しました。

チャルマース工科大学にはCHARMEC (CHAlmers Railway MEChanics) という鉄道力学に関する研究センターがあり、レール材料、まくらぎ特性、ブレーキシステム、車輪応力、地盤振動、騒音を研究対象としています。本ワークショップは、CHARMECの前ディレクターであるロガー・ルンデン教授が平成26年3月17日から鉄道総研に滞在されているのを機に開催したもので、CHARMEC、茨城大学、東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR東日本）から研究者を招へいし、車輪とレールの損傷に関する研究についての情報交換と議論を行い、研究および交流の深度化を図りました。

ワークショップは、鉄道総研 高井秀之 理事とチャルマース工科大学 ロガー・ルンデン 教授の挨拶で始まり、「基調講演」では、チャルマース工科大学 アンダーシュ・

エクベリ 教授、JR東日本研究開発センターテクニカルセンター 横山淳 所長、茨城大学 道辻洋平 准教授から講演がありました。引き続き「レールセッション」では3件（チャルマース工科大学1件、JR東日本1件、鉄道総研2件）、「車輪の損傷、車輪／レールセッション」では3件（鉄道総研3件）の講演がありました。



チャルマース工科大学 ロガー・ルンデン教授からの挨拶